

新人保育者スキルアップ講座

幼児教育学科 講師 中尾 繁史

日時：平成29年7月1日（土）13:00～15:30

場所：E208 講義室

本学幼児教育学科の卒業生の多くは、幼稚園や保育所、こども園などで幼児教育・保育の仕事に携わっています。社会人として働き始めて3か月経ち、新しい職場に少しずつ慣れるのと同時に様々な悩みが出てくる頃でしょうか。本講座は、新人保育者として益々力を発揮していけるように、実践力の向上と同期生との情報交換を目的として開催しています。今回は平成29年3月に卒業した新人保育者20名が参加しました。

【実技講座】 13:00～14:00

「気になる子への支援教材の作り方」

講師：中尾繁史

気になる子の特性に合わせた支援教材の作成のため、TEACCHプログラムを基礎とした環境構成の視点と、視覚支援の具体例を紹介しました。また、市販の教材を用いて実際の支援場面を想定してみました。



【分科会】 14:15～15:30

「友人と語ろう」

当時のクラスアドバイザーの先生方にもご参加頂きました。



本講座に参加した理由としては、「今後の仕事に役立つと思う」や「気になる子どもを担当しているため、勉強したい」など日々の保育に関係するもの、「久しぶりに友人に会いたいと思った」など様々でした。

実技講座を終えての感想では「みんなと話しあって支援の仕方について学べる機会ができて良かった」「視覚支援の重要性を感じた。先生に質問できてよかった」「予想していたのと違った。作り方は分かったけれど、もっと実用的なものを作ってみたかった」などの感想を頂きました。

分科会については、「みんなと話せて楽しかったです」「久しぶりにたくさん話ができて嬉しかった」「他の職場の話聞いて良かった」「先生と話ができて良かったです」「久しぶりにみんなに会い、色々な話を聞き、これからは頑張ろうと思えました」「いろんな話を聞いて悩みを共有できて少しスッキリした。みんな同じような悩みを抱えていて、大変だけど保育士頑張ろうと思う」などの感想を頂きました。

本講座は、友人や教員との交流によって、現場で役立つスキルを学ぶ場としてだけではなく、卒業生の活力となる機会としての役割も果たしていると思います。多くの卒業生に参加して頂きたく思います。

